わたしたちの言葉

次の台本を読んでみましょう。「こんな言い方はしない。」「自分ならこう言う。」と思うところはありませんか。

わたしたちは、毎日、人それぞれ自分なりの言葉を使って生活しています。

台本を読むことを通して、自分たちはどんな言葉を使って生活しているか、見つめ直してみましょう。

＊人物１が歩いているところに、人物２がやって来る。

１　おはよう。
２　おはよう。
１　ねえねえ、今日、毛筆の授業あるよね。
２　あるよ、あるよ。
１　よかった。今日は、持ってきたんだ。
２　わすれるよねえ、よく。
１　わすれたら、また、しかられるとこだった。
２　最近、先生、ちょっとおこりっぽいよねえ。
１　うん。
２　どうしてかな。
１　あ、〔人物３〕だ。

＊人物３が加わる。

３　おはよう。
１・２　おはよう。

３　ねえねえ、今日、給食カレーでしょ。
１　え、もう、給食の話？
２　早いよ。
３　だって、カレー好きなんだもん。
２　そりゃ、私も好きだけどさ。
１　早すぎるよ、まだ。
２　そうだよ。
３　ええ？

＊そこに人物４と人物５がやって来る。
全員がたがいに「おはよう。」と言い合う。

４　ねえねえ、〔人物５〕が、算数の宿題わすれたんだって。
２　え、うそ。
４　本当だよね。
５　いいんだ、別に。
１　ええ、おこられるよ。
３　まあ、おこられるね。
５　うるさいなあ。

２　さっきも話してたんだよね。
４　え、なになに。
２　先生、最近、おこりっぽいねって。
５　だいじょうぶだって。
３　あ、〔人物６〕だ。

＊そこに人物６がやって来る。
全員がたがいに「おはよう。」と言い合う。

５　ねえねえ、宿題見せて。
６　ええ？
２　だめだよ。
５　いいんだよ。
６　なんの宿題？
５　算数。
６　でも、自分でやんないと。
５　今日だけ、今日だけ。
６　やっぱり、だめ。

（平田オリザ　作）

●台本を書き直そう

はじめに、台本を読んで気づいたことを、グループで話し合いましょう。

次に、だれがどの役をやるかを決め、一人一人のせりふを、自分たちの言葉や言い方を使って、書き直しましょう。

●演じてみよう

実際に、歩きながら演じてみましょう。

せりふのやりとりを通して、自分たちらしい言い方になっているか、確かめましょう。

●発表しよう

書き直した台本を使って、グループごとにクラスで発表しましょう。

おたがいの発表を見て気づいたことを、伝え合いましょう。

小さな図書館

読んで演じたくなるゲキの本　小学生版

演じることは、心を豊かにすること。みんなで作る楽しい演劇。

演劇は道具だ

宮沢章夫（みやざわあきお）

演じることを通して他人を知り、演じることを通して自分を知る。